

### 介護分野での知識や専門性を高める勉強を

社会福祉法人ひまわりの里・鳳 鎌田 将人



新年を迎え、新型コロナウイルス発生から約1年が経ち、コロナ対策が当然のことになりました。それまでにマスクやソーシャルディスタンスなど、いろいろと制限や決まりができ、ストレスを感じることも多い世の中になりましたが、引き続き感染対策を頑張りたいと思います。

私は、当施設で勤めて6年目となります。これからは介護分野での知識や専門性を高める勉強をして、将来、利用者の方々の介護に活かせるようになりたいと思います。

### 働きがいのある職場づくりを

ヘルパーステーション大浜 介護福祉士主任 備 真理子

新しい年のスタートです。

コロナ禍の今、私たちヘルパーは利用者さんや地域の方々に支えられながら、日々訪問を続けています。

「暖かくなるころには、皆さんに穏やかな日常が訪れますように」と願うばかりです。

私は今まで動いてきて、ともうすの強みは職員の専門性の高さとチームワークの良さだと感じています。

これからも、よりよい介護を目指して、働きがいのある職場づくりを頑張っていきたいです。



## 2021年

# 危機に立ち向かう組織の強さで これからも安心して 住み続けられるまちづくりを



### 地域に必要とされる医療に貢献を

耳原総合病院 副院長 外山 和隆



このたび、医療安全を担当することになりました。

私は、研修医の時から耳原総合病院で働いていますが、今回のようなコロナ禍は初めての経験です。今回の未経験で、困難な状況のなかでも、地域に必要とされる医療を展開できているのは、とても素晴らしいことだと思います。高い危機管理の意識と、危機に対して一致して立ち向かうことができる組織の強さが、当院の強みだと考えます。その強みを引き継ぎつつ、私も医療安全の立場から、地域に必要とされる医療に貢献できたらと考えています。



### 思いに寄り添い、笑顔と思いやりを忘れず

みみはら高砂クリニック訪問診療部 主任 土岸ひとみ



新型コロナウイルスの終息の兆しが見えない中、感染予防に努め、面会制限・外出自粛など、たくさんのストレスを抱えながらの不安の1年でした。「家に帰りたい」「住み慣れた家で最期まで自分らしく生きたい」を支えるため、思いに寄り添い、笑顔と思いやりを忘れず、他職種と連携しながら、毎日、医師と一緒に訪問にまわっています。

「訪問診療にきてもらって良かった」と喜んでいただけるよう、今年もみんなと一致団結して、頑張ります。



### さらに「安心と信頼の かかりつけ薬局」を目指して

泉州メディカ 協和薬局 薬局長 林 智子

現在、急速に進む高齢化社会のなかで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括システムが構築されようとしています。



協和薬局では在宅医療において、免疫力が低下している患者の薬剤混合時に、微生物や異物汚染を回避するため、無菌調剤を必要とする患者が多く存在することから、昨年末クリーンベンチを導入いたしました。これにより、さらに「安心と信頼のかかりつけ薬局」を目指してまいります。

### 高齢者が日常生活を快適に 過ごせるよう

耳原高石診療所デイケアセンター 主任技師 澤 真司

職種は介護福祉士で、今年で同仁会歴23年となります。昨年は、新型コロナウイルス感染予防の対策に追われる日々でした。食事、入浴、排泄など、ご高齢者が生きていくうえで最も必要な部分に携わっています。

今後も一層、予防を強化し、ご高齢者が日常生活を快適に過ごせるお手伝いをさせていただきます。まだまだ感染予防の取り組みが必要です。気を緩めずに、日々頑張りたいと思います。

介護報酬の改定にもよりますが、リハビリを中心とした事業所になるかと思えます。介護福祉士が、リハビリ業務のどの部分を担えるのかを確立できたらと思います。



### QOLの向上に 繋げていける歯科衛生士に

耳原歯科診療所 歯科衛生士 中林 由佳

歯科では、新型コロナウイルスが流行し始めてから、患者さんの来院自粛が増えました。

今まで定期検診をされていた方も、何カ月も来院されなくなってしまい、来院された時には、虫歯や歯周病が悪化している方が増えました。

虫歯や歯周病が悪化してしまうとQOL（生活の質）の低下、全身疾患の悪化、最近では認知症のリスクが高くなると言われています。



これまでも感染対策は徹底してきましたが、さらに安心して来院していただけるように、感染対策を強化していきたいと思います。

「身体の健康は口からです」一患者さんに口腔ケアの必要性を伝え、QOLの向上に繋げていける歯科衛生士でありたいと思います。

### 安心して保育ができる 環境づくりを

ひまわり保育園 園長 長田 大輔

新型コロナウイルスの感染拡大により、保育園も臨時休園や保育のスタイルも密を避けるなど、変更を余儀なくされました。子どもどうしが関わってこそ、社会性が育ちます。感染予防にはもちろん気をつけながら、できる限りのことはしていきたいと思っています。



ひまわり保育園としても、「地域の保育の要求に応えられるように」と思います。子どもの全面発達も保証し、保護者の方や職員も安心して保育ができる環境づくりをしていきたいと思っています。



### ご利用者に誠実に 向きあっていきたい

耳原ケアプランセンター高砂 ケアマネージャー 岩崎 奈保

2020年、誰もが初めて経験することとなったコロナ禍の中で、居宅介護支援事業所として、また一人のケアマネージャーとして、「どのようにご利用者と向き合い、支援していくことが正しいのか？」と考えさせられる毎日でした。

2021年は、3年に一度の介護報酬改定の年となります。ご利用者が住み慣れた地域でこれからも安心して暮らせるよう、日々、誠実に向きあっていきたいと思っています。



### 耳原総合病院の 入院患者の面会を

## 禁 止

耳原総合病院では、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みて、入院患者の面会を禁止しております。症状説明などで病院からのお呼び出しや、緩和ケア病棟のご家族の特例については病院からご説明いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。新型コロナウイルスの病棟への持ち込みを防止するため、ご理解・ご協力をお願いします。

### 安心して暮らせる まちづくりに、少しでも力に

耳原総合病院サポートセンター 管理事務課長 端 伸一郎

サポートセンターは、地域連携室、入退院支援室、医療福祉相談室、患者相談室、がん支援センターの5室で構成されています。当センターでは地域医療機関や介護施設と連携し、患者さん、地域の皆さんが安心して医療を受け、暮らしていけるよう、サポートしております。また医療費の相談から、些細な相談ごとまで相談窓口としての役割も果たしています。



2025年が、地域包括ケアシステム構築の目標の年です。2025年に向け、地域医療機関・介護施設との連携をさらに強化し、「皆さんが安心して暮らせるまちづくりに、少しでも力になれば」と考えています。